

# 日本映画史研究(1)

——東映映画30年の歩み(1)——

フィルムセンターでは、これまで監督、俳優、時代相あるいはジャンル別等の角度から数々の特集番組を組んで、日本映画の研究上映を実施してきた。今回から同じく日本映画を研究する観点に立って、新たに製作会社別の特集番組を構成し、各映画会社がそれぞれの時代の求めに応じてどのような作品を製作してきたかを歴史的に回顧することによって、各製作会社の制作特色を明らかにするとともに日本映画史の断面的把握の一助としたいと考え、その第一回の企画として「東映映画30年の歩み」をとりあげることとした。

1951年4月、東横映画、大泉映画、東京映画配給の三社が合併して新たに設立されたのが「東映」であり、以来、同社は戦後の日本映画史を綴るにあたって欠かすことのできない数々の名作、話題作を世に送り出してきたが、本年は同社の30周年にあたることになる。

戦前からの松竹、東宝、大映の各社に加えて、戦後新たに発足した新東宝、1954年に製作を再開した日活(現・にっかつ)とともに、東映は邦画六社の一つとして、日本映画界に空前の黄金時代をもたらした。〈時代劇は東映〉のキャッチフレーズをかざして、大衆に親しまれる痛快明朗な娯楽作品を大量に製作するとともに、迫力溢るるアクションを売り物にした現代劇を加えて、〈東映映画〉の地位をゆるぎないものにし、一時は〈第二東映〉(後のニュー東映)を発足させるまでにいたった。その娯楽映画のシリーズ化は、他社の追随を許さないまでになり、数々のヒーロー、ヒロインを生み出して多くの人々に親しまれてきた。

今回、フィルムセンターでは、東横映画の「獄門島」から最近におけるシリーズ映画化の代表作「仁義なき戦い」にいたるまで、東映映画の特色を最も発揮した代表作を出来る限り網羅して連続上映し、東映映画が日本映画界に残してきた足跡を回顧するとともに日本映画史研究に資することにした。日頃から映画を研究し愛好する皆様の御鑑賞をお勧めいたします。

1981年9月 フィルムセンター

■日曜・祝日は休館。午後3時・6時15分の2回上映(開館は午後1時で、先着順にて定員239名に達し次第締め切ります)。

一般250円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
10月20日(火)、21日(水)	獄門島(総集篇)(105分)	1949年	松田定次	片岡千恵蔵、喜多川千鶴、大友柳太朗、三宅邦子、小杉勇
22日(木)	きけわだつみの声(109分)	1950年	関川秀雄	伊豆肇、原保美、河野秋武、沼田曜一、信欣三、杉村春子
23日(金)	人生劇場・第一部(113分)	1952年	佐分利 信	舟橋元、佐分利信、北林谷栄、高峰三枝子、月形哲之介、片岡千恵蔵、
26日(月)	〃 第二部(112分)	1953年	〃	月形哲之介、島崎雪子、徳大寺伸、内田良平
27日(火)、28日(水)	ひめゆりの塔(130分)	〃	今井 正	津島恵子、岡田英次、香川京子、関千恵子、岩崎加根子、利根はる恵
29日(木)、30日(金)	笛吹童子(148分)	1954年	萩原 遼	中村錦之助、東千代之介、高千穂ひづる、田代百合子、大友柳太朗
11月 2日(月)	血槍富士(97分)	1955年	内田吐夢	片岡千恵蔵、月形哲之介、喜多川千鶴、島田照夫、田代百合子、加東大介
4日(水)	赤穂浪士(157分)	1956年	松田定次	片岡千恵蔵、市川右太衛門、月形哲之介、大友柳太朗、中村錦之助
5日(木)	夕陽と拳銃(129分)	〃	佐伯 清	東千代之介、三条美紀、高倉健、波島進、山手弘、浦里はるみ
6日(金)	鳳城の花嫁(89分)	1957年	松田定次	大友柳太朗、長谷川裕見子、中原ひとみ、志村喬、松浦英枝
9日(月)、10日(火)	仇討崇禅寺馬場(93分)	〃	マキノ雅弘	大友柳太朗、千原しのぶ、堀雄二、三島雅夫、風見章子
11日(水)	水戸黄門(98分)	〃	佐々木 康	月形哲之介、東千代之介、大川橋蔵、千原しのぶ、花柳小菊
12日(木)	純愛物語(113分)	〃	今井 正	江原真二郎、中原ひとみ、岡田英次、木村功、小林トシ子、加藤嘉
13日(金)	大菩薩峠・第一部(122分)	〃	〃	片岡千恵蔵、中村錦之助、月形哲之介、長谷川裕見子、丘さとみ、
16日(月)	〃 第二部(110分)	1958年	〃	東千代之介、星美智子、浦里はるみ、加賀邦男、山形勲、左ト全、
17日(火)	〃 完結篇(109分)	1959年	〃	木暮実千代、里見浩太郎、植木基晴、岸井明、沢村貞子、上田吉二郎
18日(水)、19日(木)	旗本退屈男(108分)	1958年	松田定次	市川右太衛門、中村錦之助、北大路欣也、大川恵子、千原しのぶ
20日(金)	快傑黒頭巾(87分)	〃	松村昌治	大友柳太朗、長谷川裕見子、桜町弘子、松島トモ子、尾上鯉之助、植木千恵
24日(火)	一心太助・天下の一大事(91分)	〃	沢島 忠	中村錦之助、月形哲之助、中原ひとみ、桜町弘子、堺駿二
25日(水)	点と線(86分)	〃	小林恒夫	南広、高峰三枝子、山形勲、志村喬、堀雄二、月丘千秋、小宮光江
26日(木)	警視庁物語・顔のない女(86分)	1959年	村山新治	南広、堀雄三、神田隆、花沢徳衛、山本麟一、松本克平
27日(金) 1:30、5:30	28日(土) 1:30の回のみ	〃	〃	伏見扇太郎、里見浩太郎、尾上鯉之助、日黒ユウキ、山手弘太郎
〃				
30日(月)	鹿島灘の女(92分)	〃	山村 聡	江原真二郎、春丘典子、水木襄、小笠原慶子、清村耕次、今井俊二

12月1日(火)、16日(水)は休館。但し、12月2日(水)～15日(火)は「フィンランド映画の史的展望」を上映

12月 17日(木)	新吾十番勝負(総集篇)(103分)	1959 ～60年	松田定次 小石栄一	大川橋蔵、長谷川裕見子、大友柳太朗、桜町弘子、大川恵子
18日(金)	続・べらめえ芸者(83分)	1960年	〃	美空ひばり、高倉健、中原ひとみ、山村聡、清川虹子、丸山明宏
21日(月)、22日(火)	御存じ いれずみ判官(94分)	〃	〃	片岡千恵蔵、丘さとみ、木暮実千代、千秋実、進藤英太郎、山形勲
23日(水)	秘 窓(83分)	〃	〃	江原真二郎、佐久間良子、南宏、春丘典子、山田五十鈴
24日(木)、25日(金)	多羅尾伴内 七つの顔の男だぜ(88分)	〃	〃	片岡千恵蔵、中原ひとみ、中山昭二、佐久間良子、山本麟一、山形勲

## 土曜特集：清水宏監督研究(3)

■土曜特集は、午後1時30分に開映し、上映は1回のみと致します。入館方法・料金は平日と同じです。

期 日	題 名	製作年	製作会社	出 演 者
10月17日(土)	子供の四季(68分)	1939年	松竹大船	河村黎吉、吉川満子、葉山正雄、横山準、坂本武、岡村文子
24日(土)	一休館 日一	〃	〃	〃
31日(土)	信 子(88分)	1940年	〃	高峰三枝子、三浦光子、飯田蝶子、岡村文子、森川まさみ、高松栄子
11月7日(土)	みかへの塔(110分)	1941年	〃	笠智衆、日守新一、三宅邦子、野村有為子、奈良真養、大山健二
14日(土)	歌女おぼえ書(95分)	〃	〃	水谷八重子、上原謙、藤野秀夫、朝霧鏡子、津田晴彦、河村黎吉
21日(土)	一休館 日一	〃	〃	〃
28日(土)	上欄参照	〃	〃	〃
12月5日(土)	団栗と椎の実(29分)	〃	〃	大山健二、若水絹子、大塚紀男、横山準、大藤英、末松孝行
	簪 (68分)	〃	〃	田中絹代、川崎弘子、斎藤達雄、笠智衆、日守新一、三村秀子
12日(土)	サヨンの鐘(74分)	1943年	松竹京都	李香蘭、近衛敏明、島崎澄、大山健二、若水絹子、中川健三
19日(土)、26日(土)	一休館 日一	〃	〃	〃

# 日本映画史研究(1)

## —東映映画30年の歩み(2)—

フィルムセンターでは、これまで監督、俳優、時代相あるいはジャンル別等の角度から数々の特集番組を組んで、日本映画の研究上映を実施してきた。今回から同じく日本映画を研究する観点に立つて、新たに製作会社別の特集番組を構成し、各映画会社がそれぞれの時代の求めに応じてどのような作品を製作してきたかを歴史的に回顧することによって、各製作会社の制作特色を明らかにするとともに日本映画史の断面的把握の一助としたいと考え、その第一回の企画として〈東映映画30年の歩み〉をとりあげることにした。

1951年4月、東横映画、太泉映画、東京映画配給の三社が合併して新たに設立されたのが〈東映〉であり、以来、同社は戦後の日本映画史を綴るにあたって欠かすことのできない数々の名作、話題作を世に送り出してきたが、本年は同社の30周年にあたることになる。

戦前からの松竹、東宝、大映の各社に加えて、戦後新たに発足した新東宝、1954年に製作を再開した日活(現・にっかつ)とともに、東映は邦画六社の一つとして、日本映画界に空前の黄金時代をもたらした。〈時代劇は東映〉のキャッチフレーズをかざして、大衆に親しまれる痛快明朗な娯楽作品を大量に製作するとともに、迫力溢るるアクションを売り物にした現代劇を加えて、〈東映映画〉の地位をゆるぎないものにし、一時は〈第二東映〉(後のニュー東映)を発足させるまでにいった。その娯楽映画のシリーズ化は、他社の追従を許さないまでになり、数々のヒーロー、ヒロインを生み出して多くの人々に親しまれてきた。

今回、フィルムセンターでは、東横映画の「獄門島」から最近におけるシリーズ映画化の代表作「仁義なき戦い」にいたるまで、東映映画の特色を最も発揮した代表作を出来る限り網羅して連続上映し、東映映画が日本映画界に残してきた足跡を回顧するとともに日本映画史研究に資することにした。日頃から映画を研究し愛好する皆様の御鑑賞をお勧めいたします。

1981年11月 フィルムセンター

■ 曜・祝日は休館。午後3時・6時15分の2回上映(開館は1時で、先着順にて定員239名に達し次第締め切ります)。

■ 1981年12月26日(土)から'82年1月5日(火)までは休館です。

一般250円・学生140円・小人100円

期	日	題名	製作年	監督	出演者
1月	6日(水)	砂漠を渡る太陽(98分)	1960年	佐伯清	鶴田浩二、高倉健、山村聰、佐久間良子
	7日(木)	風来坊探偵 赤い谷の惨劇(62分)	1961年	深作欣二	千葉真一、北原じげみ、曾根晴美、小林裕子
	8日(金)	花と嵐とギャング(93分)	〃	石井輝男	鶴田浩二、高倉健、江原真二郎、小宮光江
	11日(月)	故郷は緑なりき(92分)	〃	村山新治	佐久間良子、中山昭二、水木襄、三国連太郎
	12日(火)	臉の母(83分)	1962年	加藤泰	中村錦之助、大川恵子、松方弘樹、木暮実千代
	13日(水)	源氏九郎義経記 秘剣揚羽の蝶(99分)	〃	伊藤大輔	中村錦之助、長谷川裕見子、大川恵子、丹波哲郎
	14日(木)	誇り高き挑戦(89分)	〃	深作欣二	鶴田浩二、梅宮辰夫、丹波哲郎、大空真弓
	18日(月)	人生劇場 飛車角(95分)	1963年	沢島忠	鶴田浩二、佐久間良子、高倉健、月形龍之介
	19日(火)	陸軍残虐物語(98分)	〃	佐藤純弥	三国連太郎、中村賀津雄、江原真二郎、西村晃
	20日(水)	警視庁物語 全国縦断捜査(84分)	〃	飯塚増一	南広、神田隆、堀雄二、中原ひとみ
	21日(木)	十七人の忍者(99分)	〃	長谷部安人	里見浩太郎、東千代之介、品川隆二、大友柳太朗
	22日(金)	昭和侠客伝(91分)	〃	石井輝男	鶴田浩二、嵐寛寿郎、大木実、内田良平
	25日(月)、26日(火)	関の弥太っぺ(89分)	〃	山下耕作	中村錦之助、小朱雀代、岩崎加根子、木村功
	27日(水)	十三人の刺客(125分)	〃	工藤栄一	片岡千恵蔵、里見浩太郎、内田良平、丹波哲郎
28日(木)	忍者狩り(87分)	1964年	山内鉄也	近衛十四郎、山城新伍、河原崎長一郎、安部徹	
29日(金)	柳生武芸帳 十兵衛暗殺劇(86分)	〃	倉田準二	近衛十四郎、宗方奈美、大友柳太朗、河原崎長一郎	
2月	1日(月)	ひも(88分)	1965年	関川秀雄	緑魔子、梅宮辰夫、ロミ山田、中原早苗
	2日(火)、3日(水)	網走番外地(92分)	〃	石井輝男	高倉健、南原宏治、丹波哲郎、安部徹
	4日(木)、5日(金)	昭和残侠伝(90分)	〃	佐伯清	高倉健、池部良、三田佳子、松方弘樹
	8日(月)	日本侠客伝 血闘神田祭(88分)	1966年	マキノ雅弘	高倉健、藤山寛美、大木実、鶴田浩二
	9日(火)、10日(水)	沓掛時次郎 遊侠一匹(91分)	〃	加藤泰	中村錦之助、東千代之介、池内淳子、弓恵子
	12日(金)	893悪連隊(89分)	〃	中島貞夫	松方弘樹、天地茂、荒木一郎、ケン・サンダース
	15日(月)	組織暴力(90分)	1967年	佐藤純弥	丹波哲郎、高宮敬二、千葉真一、月形龍之介
	16日(火)	解散式(93分)	〃	深作欣二	鶴田浩二、藤純子、丹波哲郎、金子信雄
	17日(水)	大奥秘物語(95分)	〃	中島貞夫	佐久間良子、藤純子、岸田今日子、山田五十鈴
	18日(木)、19日(金)	博奕打ち 総長賭博(95分)	1968年	山下耕作	鶴田浩二、若山富三郎、藤純子、金子信雄
	22日(月)	不良番長(89分)	〃	野田幸男	梅宮辰夫、夏珠美、南原宏治、谷隼人
	23日(火)、24日(水)	緋牡丹博徒 花札勝負(99分)	1969年	加藤泰	藤純子、高倉健、石山律、嵐寛寿郎
	25日(木)	博奕打ち いのち札(106分)	1971年	山下耕作	鶴田浩二、水島道太郎、安田道代、若山富三郎
	26日(金)	女番長ゲリラ(84分)	1972年	鈴木則文	杉本美樹、成瀬正孝、池玲子、あがた森魚
3月	1日(月)、2日(火)	女囚701号 さそり(87分)	〃	伊藤俊也	梶芽衣子、扇ひろ子、夏八木勲、横山リエ
	3日(水)、4日(木)	仁義なき戦い(99分)	1973年	深作欣二	菅原文太、松方弘樹、梅宮辰夫、金子信雄

## 土曜特集：清水宏監督研究(4)

■土曜特集は、午後1時30分に開映し、上映は1回のみと致します。入館方法・料金は平日と同じです。

期	日	題名	製作年	製作会社	出演者
1月	9日(土)	蜂の巣の子供たち(84分)	1948年	東宝-蜂の巣	島村俊作、夏木雅子、御庄正一、伊本紀洋史、多島元、矢口渡
	16日(土)	—休館日—			
	23日(土)	小原庄助さん(90分)	1949年	新東宝	大河内伝次郎、風見章子、宮川玲子、清川虹子
2月	30日(土)	母情(85分)	1950年	〃	清川虹子、徳川夢声、黒川弥太郎、山田五十鈴
	2月6日(土)	その後の蜂の巣の子供たち(92分)	1951年	新東宝-蜂の巣	岩本豊、久保田晋一郎、三原弘之、千葉義勝
	13日(土)	—休館日—			
	20日(土)	大仏さまと子供たち(99分)	1952年	〃	岩本豊、嵯谷夫、川西清、千葉義勝
3月	27日(土)	しいのみ学園(98分)	1955年	新東宝	香川京子、宇野重吉、花井蘭子、島崎雪子
	3月6日(土)	次郎物語(97分)	〃	〃	木暮実千代、望月優子、花井蘭子、竜崎一郎